

進邁往勇

～認め合い・高め合い・助け合い～

体育大会

十月三日(日)に第六十八回長洲中学校体育大会が開催されました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、午前中での開催となりました。一週間というとても短い間の練習となりました。しかし、応援団リーダーを中心に体育の授業や朝自習の時間などを有効活用して行っていました。生徒それぞれの真剣に取り組む姿はとも思いついに残るものになったでしょう。

さて、今回は体育委員長の尾上蓮太君、赤団団長の藤木青空君、白団団長の阿部蒼士君の体育大会での感想を紹介します。

体育大会を振り返って

三年一組 尾上蓮太

中学校最後の体育大会は、昨年と同じで午前中での開催でした。しかし、それぞれができることを考えて行動してくれたので、短い期間でも最高の体育大会ができたと思います。一・二年生は悔しい気持ちや嬉しい気持ちなど胸にして来年は、今年を超えるような体育大会を創り上げてほしいと思います。三年生もこの気持ちを大切にしていって、中学校生活を送っていきましょう。最高の体育大会をありがとうございました。

団長として

三年二組 阿部蒼士

今年の体育大会も新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため短縮して行われました。

そのため、大変だったことがありました。それは、まん延防止等重点措置のため、朝練や放課後練習はできず、練習時間が一週間程度しかなかったことです。そのため、短い時間で演舞などの細かい部分を合わせることも大変だったし、とても苦労しました。

僕は中学校生活最後の体育大会が短縮で行われたことと、たくさん練習してきた演舞で勝てなかったことがすごく悔しかったです。しかし総合優勝できて結果的にはよかったですし、楽しくいい思い出になりました。

団長として

三年一組 藤木青空

今年の体育大会も昨年同様、コロナウイルスの影響で半日での開催となりました。例年以上に練習時間が短い中全員が一丸となって練習に取り組みました。

今年私は団長になりました。中学校生活最後の体育大会、今年自分たちの力で赤団を総合優勝させたいという思いで団長となり、体育大会に向けて練習を頑張りました。いざ練習が始まると、全校生徒が必死に動いてくれましたが、演舞では全くそろっていませんでした。しかし、動きが着実に良くなっていき白団と勝負できるようにしました。本番を迎え、演舞は今まで一番の発表ができました。そして、応援合戦の部で優勝できてとても嬉しかったです。総合優勝は逃しましたが、とてもいい思い出になりました。

後期スタート

十月十二日に後期がスタートしました。後期に向けて新たな目標を立てた人もいるのではないのでしょうか？

今回は一年二組の出村紗雪さん、二年二組の野畑蒼太朗君に後期で頑張りたいことの作文を紹介します。

後期で頑張りたいこと

一年二組 出村 紗雪

私が後期で特に頑張りたいことは、発表や反応をすることです。私は前期の半年間積極的に発表したり、質問したりすることを目標にできました。私はもともと人前で発表したり意見を言うことが苦手なので、前期ではまだまだと感じています。だから後期では先生方が話されることにならずに、反応を返すことを意識して頑張っていきたいと思います。後期ではこのことを目標に頑張っていきたいです。

後期の目標

二年二組 野畑 蒼太朗

僕が後期で頑張りたいことは、時間を把握して行動することです。前期は遅刻することはなかったですが、時間ギリギリに登校する事が多かったり、授業の始まる一分前にも席に着けていませんでした。後期ではしっかりと時間を確認し、時間ギリギリに登校する事をなくして、授業の始まる一分前には席に着いておくことを頑張りたいです。